

発言・討論まとめ

専務理事 藪内 剛

『総代の皆さんと論議し、一緒に方針を作っていく』というプロセスを今後も大事にすることで、組合員の皆さんに「よどがわは私の生協」と思ってもらいたいという想いがあります。

よどがわ市民生協は、日本の持続可能な食料生産を大切に、それが『安全で安心できる食や暮らし』につながると考えています。事業や活動との連携を強め、更なる広がりをめざします。環境政策については、目標達成をめざすとともに、今後建設する施設の環境負荷低減をすすめます。行政、社会福祉協議会、NPO、地元企業など多様な地域団体とのつながりを強化し、地域貢献をすすめます。また、「よりよき

くらしと平和のために」「核兵器や戦争のない平和で暮らしやすい社会」をめざし、必要な意見表明やピースアクションへの参加、学習会などに取り組みます。

本日、通常総代会にて発言があった6人の総代の意見は、多くの組合員が共感できるものです。地域や社会で起こっていることに関心を持ち、自分事ととらえて、一歩踏み出す人が増えれば増えるほど、私たちの暮らすこの地域・社会をよりよくすることができるのだと思っています。そんな参加を一緒に広げていきましょう。



当日発言・主旨

※事務局で要約し掲載しています。全文は意見集をご覧ください。意見集をご希望の方は組織部までお電話ください。

わたしの想い～議案への意見～

「わたしの想い」

高槻市：北堂敏子総代

91歳、独居ですが元気で東京まで一人で行く高齢者です。現在老人会の役員もしています。100歳時代、まだまだがんばります。食事が一番大切です。睡眠。栄養。運動です。生協さんの商品はおいしく品質管理もされており、安心です。また品数も豊富で少量パックは高齢者にはありがたいです。これからもおいしい商品を届けてください。

「食と命を次世代に継げていくために」

茨木市：武田和子総代

日本は食料自給率が低く、輸入に頼っています。また、日本の農業・酪農・漁業に携わっている人々の生活を守っていかなくては、次世代の安全な「くらし」も「食」も残せません。そのためにも「生産者と消費者」がつながる重要な架け橋として、これからもよどがわ市民生協に期待しています。

「わたしの想い」

高槻市：中川亜希総代

毎週の配達時、4歳と2歳の子どもたちは配達担当の人に「ありがとう」といって古いカタログを渡す係です。配達担当の人がいつも明るい笑顔で受け取ってくださるので、子どもたちはうれしそうです。昨年から総代になり、『食の安全』を意識することが増えました。「生協だから安心して買える」と思えることは、子育てで余裕がない日々の中で、大きな心のゆとりにつながります。

「よどピー通信」

吹田市：常本映子総代

平和グループが発行している『よどピー通信』は、2004年に創刊してから今年1月で20年を過ぎました。「食の安全は平和な社会から」をモットーにして平和を追求し、組合員へ発信しています。ご希望の組合員さんは組織部までご連絡ください。また、一緒に平和について活動しませんか？平和グループのメンバーも募集しています。

「よどがわの環境政策について」

吹田市：井上道代総代

地球温暖化による気候危機は、私たちの生活をさまざまな面から脅かし、災害も激甚化させています。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)に基づき、よどがわ市民生協も電力契約を再生可能エネルギー由来にしたり、支所などの建物に太陽光発電を設置したり、CO2削減の取り組みをすすめていることに大賛成です。みんなで「生活を守るために、どうしたらよいか」考えていけたらいいですね。

「よどがわくらしの助け合いの会『ほのぼの』」

東淀川区：小島佳代子総代

『ほのぼの』は今年20周年を迎えます。困ったときはお互いさまをモットーに、組合員が活動会員・利用会員・賛助会員となって助け合う、生協の組合員の有償活動です。昨今では、活動会員さんの高齢化や人手不足、それに反して利用会員さんの増加など問題は山積みです。一人でも活動会員さんを増やし、今後も続けていくためには、皆様のご理解とご支援が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

2030ビジョン

北摂の地で組合員を主役に、地域とつながり

「ここで暮らしてよかった!」を実現する ～この地で生まれ育った生協だからこそ～

大阪よどがわ市民生活協同組合は北摂の地で誕生し
2026年度2月(2027年2月25日)に設立50周年を迎えます。
2030年に向けよどがわ市民生協は、組合員を主役にビジョンの実現ができる生協づくりをすすめます。



2024年度は、2030ビジョンに向けた第1期中期計画の最初の年になるで～～!

●第1期中期計画
2024年～2026年

●第2期中期計画
2027年～2030年

2024年度取り組むこと・4つの柱

地域社会の一員として地域でもささえあい、組合員一人ひとりが実感した生協のよさを伝え、生協の利用や活動の参加をひろげ、それぞれの思う豊かなくらしの実現をめざしていきましょう。2030ビジョンに向けての初年度になります。

みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめよう

「みんな」には、組合員だけでなく「生産者・取引先」「配送担当者」「その他関係関係先」も含まれます。日々のくらしや食(食料自給率、健康など)を大切に、一人ひとりの組合員が生協に関わることを通じて、笑顔になれる事業をめざします。



知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動をすすめよう

まずは「知ること」から学び、子育て、介護など家庭の事情があっても「気軽に」「どこでも」「いつでも」誰もが参加できる活動をさらに広げます。



ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協力をすすめよう

平和を願う想いや生協の取り組みの価値が広がるよう、地域の様々な団体とも連携しましょう。環境や食品ロスなどの取り組みも強化します。



発展し続ける生協をめざして、将来に備えよう

生活をささえる生協として、さらに事業を安定・発展させ、災害など不測の事態でも組合員の期待に応えられる生協をめざします。

※第47回通常総代会議案書・意見集をご希望の組合員は、組織部までお電話ください。
☎06-6319-5619 (受付:月～金、9～17時)